



# さくら会だより

Vol.12  
2026年5月末日

2025年11月24日(月・祝)、新しく献堂された捜真バプテスト教会礼拝堂において第14回ホームカミングデーが開催されました。当日は200名を超える参加者にお集まりいただき、先生方や友達と久しぶりの再会を喜び、神様に感謝するひと時となりました。

総会では今年度の会計報告および活動報告が行われました。また、任期による役員の改選が行われました。

奏楽は卒業生保護者であり、園職員でもある高橋朋子さんをご奉仕くださいました。ありがとうございます。会員の皆様に当日の様子をお伝えいたします。

## 「イエス様とつながってしよう」

捜真バプテスト教会牧師・認定こども園捜真幼稚園理事長 小野 慈美

「わたしにつながっていなさい。わたしもあなたがたにつながっている。ぶどうの枝が、木につながってなければ、自分では実を結ぶことができないように、あなたがたも、わたしにつながってなければ、実を結ぶことができない。わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である。人がわたしにつながっており、わたしもその人につながっていれば、その人は豊かに実を結ぶ。わたしを離れては、あなたがたは何もできないからである。」

(ヨハネによる福音書 15章4-5節)



### <ぶどうの木と枝>

イエス様は、ご自分と私たちとの関係を、この「ぶどうの木」に例えて教えてくださいました。イエス様はこう言いました。「わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である。」想像してみてください。地面からしっかり生えている太い幹(みき)、これがイエス様です。そこから伸びている細い枝、これが、みなさん一人ひとりです。枝にとって一番大事なことは何でしょうか? 「太い木に、しっかりくっついていること(つながっていること)」です。もし、枝がポキッと折れて、木から離れてしまったらどうなるでしょう? そう、水分も栄養ももらえなくなって、カラカラに乾いてしまいますよね。もちろん、おいしいブドウの実もできません。

### <つながっているとは?>

みなさんは今、学校で頑張っていますね。新しい勉強、新しいお友達、楽しいこともたくさんあるけれど、時々、ちょっと大変だな、寂しいな、と思うこともあるかもしれません。そんな時、思い出してください。みなさんは、幼稚園を卒業しても、イエス様という「ぶどうの幹」に、ずっとつながっている枝なんです。イエス様につながっていれば、困っ

たことや悲しいことが起こらないということではありません。嵐が来ることもある。でも、幹にしっかりとつながっていると、嵐が来ても、大丈夫。

イエス様と「つながっている」ってどういうことかな？それは、目には見えないけれど、心の中でイエス様とお話することです。嬉しい時、「イエス様、ありがとう！」って思うこと。悲しい時、「イエス様、助けて」ってお祈りすること。それが「つながっている」ということです。去年卒業した A 君からこんな話を聞きました。近くの公立小学校に入学して、とても不安になったときがあった。でも昼休みに一人でこっそりお祈りしたら、心が落ち着いて「大丈夫」という気持ちになったそうです。

また、日曜日の教会学校に来ることも、イエス様とつながることを確かめる良い機会になりますよ。



#### <実を結ぶ>

イエス様という木にしっかりとつながっていれば、大丈夫。木から栄養が流れてくるように、イエス様から「愛」や「勇気」や「優しさ」という栄養が、みんなの心にドクンドクンと流れてきます。そうすると、みんなの枝には、いつの間にか素敵な「実」がなります。それは本物のブドウじゃないけれど、「やさしさ」という実、「がまん強さ」という実、「笑顔」という実です。

小学校に行っても、違う場所にも、みなさんは一人ぼっちではありません。イエス様とずっとつながっています。だから、安心して、学校生活を楽しんでくださいね。



千栄先生から、さくら会の皆さんにメッセージをいただきました。



#### 認定こども園捜真幼稚園園長 寺田 千栄

さくら会の皆様、いつも、園のことをお支えいただき、ありがとうございます。

先日、さくら会に 20 歳で招待されたことをきっかけに、それから同級生で定期的に合うようになったというお話を伺いました。また、大学受験のための塾で幼稚園の時の同級生に再会し、それから仲良くなったという人もいました。私が「どうして、お互いが捜真幼稚園卒業生だとわかったの？」と聞くと、「なんか同じ匂いがするんだよ」と答えてくれました。また幼稚園の時の保護者仲間のお話もよく聞きます。卒業してから毎月会うようにしているとか、よく電話するとか、幼稚園時代の充実した濃い仲間関係がお互いを支える関係になっているという方もいます。捜真幼稚園を介して様々な関係が生まれ、それが卒業しても続いていくことに驚きと共に嬉しさを覚えます。

忘れていた方もいると思いますが、神さまも皆さんとの関係をずっと求めていらしゃいます。今も捜真幼稚園では毎日礼拝をしています。その祈りの中で、また皆さんとつながっていただけることを心から感謝しています。いつでもお訪ねください。





第14回  
ホームカミングデー

2025年11月24日  
認定こども園捜真幼稚園  
さくら会



2025年は捜真幼稚園創立70周年でした。当日参加して下さった皆さんには幼稚園から創立記念のおせんべいが配られました。また、さくら会からは旧教諭北村由美子先生のデザインを使用したクリアファイルを記念品としてお配りいたしました。



20歳のみなさんもたくさん集まってくれました！



捜真幼稚園創立 70 周年を記念して、幼稚園とのコラボレーション企画も実施いたしました。幼稚園の先生方によるコンサートです。自然教室で歌ったキャンプソングをメドレーで披露してくださいました。参加者の皆さんも懐かしい歌をいっしょに歌って楽しみました。





当日はたくさんの皆さんが参加してくださいました。ありがとうございます。

建て替え前の園舎を先生方の案内で見学しました。  
 懐かしい保育室でお友達と楽しそうに過ごすみなさんの様子をお届けします。  
 ホールでは、卒業生と先生によるミニコンサートも開かれました。



写真撮影:卒業生保護者 嶋田 聡さん



## ご退職された教職員のお知らせ

この3月で3名の先生方がご退職されました。これまでの尊いお働きに心より感謝申し上げます。さくら会の皆さんにメッセージをくださっていますのでご紹介させていただきます。



前副園長 岡野 きよみ

毎年卒業式や入園式の時期になると、幼稚園から離れた皆様がどのような時を過ごされているのだろう？と巣立った卒業生や保護者に思いを馳せながら、神さまのお守りを祈り過ごしてまいりました。そして時折り幼稚園を尋ね戻ってくる卒業児や保護者を迎え入れ続けた私の歩みも、今年の3月をもってその役割を終えました。

新任で就職して以来同じ職場で今日まで勤め続けられたのは、暖かく見守り育ててくださる保護者や私のいたらぬところを補ってくださる先生方に恵まれ、個性豊かな子どもたちと心通わせ、保育できたゆえと心から感謝しております。

私が勤め始めた頃は年中からの2学年の全4クラスの幼稚園でした。その後3歳児保育が1クラスでスタートしました。更に少子化が進み、カンガルークラス、0歳児からのしいのみクラブを経て、認定こども園となりました。子育て世代のライフスタイルの変化に合わせ、試行錯誤を繰り返す変革期に園に携わることもできました。それ故、いつの時代にも変わらない園の中に流れる豊かな文化を、噛み締めつつ過ごすことができました。それは幼稚園に携わる園児、保護者、教職員が皆繋がりが合い、いつも喜び、絶えず祈り、どんなことにも感謝しながら作り上げる園の営みです。交わることが制限されたコロナをも乗り越え、今もその文化は変わっていません。繋がりを続ける園ゆえ、保護者になって戻って来た教え子と子育てについて語り合い、教え子と保育者として共に働く夢のような時を過ごすことができました。若かりし頃には想像出来なかった道を、神さまは備えてくださいました。ここで味わった豊かな経験を通して知った神さまの溢れる恵みは、これからも私の心を彩っていくことでしょう。

思い起こせば、さくら会を創設した時にも、卒業後も度々訪れ支えてくださった卒業児の保護者の存在なしには成し遂げられませんでした。創設にあたり誰が参加する会にするのか、どの様な活動を進めて行くべきか幾度となく話し合いました。その結果、さくら会は、卒業児の会ではなく、幼稚園に携わったすべての人が参加し幼稚園を応援する会として創設したのです。幼稚園を離れた今、この会を創設して良かったと、しみじみと感じております。これからもさくら会の働きによって、幼稚園を覚え祈りつつ皆様と再会できることを楽しみにしております。



前保育教諭 中村 佳代子

この3月に卒業された皆さん、ご卒業おめでとうございます。

捜真幼稚園の花壇には、卒業生の皆さんをお祝いするかのよう、チューリップ、水仙の花が今、咲き誇っています。

卒業、入学は、人生の節目となり、新たな環境へのスタートですね。ドキドキ、ワクワクする反面、未知の世界への不安もあることと思います。私も何度も繰り返し経験してきました。

私は六角橋で育ち、捜真女学校(中学部)に昔々入学しました。受験の面接の際、「人はパンだけで生きるものではなく神の口から出る一つ一つの言葉で生きる」(マタイ4章4節)という聖句にはじめて出会いました。中学、高校6年間の毎日の礼拝を通して(讚美歌が大好きでした！)、神様のお導きによって、卒業してからも、うれしい時、辛い時は自然に手を組み、祈り、神様の声を聴こうとしている自分がいました。

高校卒業後は児童教育を専攻し、幼稚園の教諭となり、東京、横浜の幼稚園で働いていましたが、4年前から捜真

幼稚園で働くことになり、神様のお導きを感じずにはいられませんでした。

人生を振り返ってみると、いつも共に神様がいてくださいました。新たな環境に4月から一步踏み出される皆さんも、神様はいつも共にいてくださいます。どうぞ安心して、神様の愛を信じて一日一日をお過ごしください。さくら会のお仲間として一緒に歩めることをうれしく思っております。



前事務職員 近藤弘江

近藤さんも、いつも明るい笑顔で支えてくださってありがとうございました。お写真のみですが紹介させていただきます。

ご退職された先生方の新しい歩みの上にも、神様の祝福が豊かにありますようお祈り申し上げます。

## ■□■□■役員交代のお知らせ■□■□■

任期終了に伴い、総会において役員交代が行われました。

会長:細井典子、副会長:岡野麻美、会計:田中由佳、書記:芳賀沙織  
監査:小谷光江

前役員の皆様、ありがとうございました。

新役員は以下のメンバーです。

会長:萩原敏江、副会長:岡野麻美(2期目)・秋直美、会計:余語朱美  
書記:神取和子、監査:田中由佳

副会長は2名体制となります。

2年間どうぞよろしくお願いいたします。



次回ホームカミングデー開催予定は

**2026年 秋以降(日程未定)**です

会員の皆さんはどなたでも参加可能です。会員の皆さんには後日メールにて詳細をお知らせいたします。ホームページでもお確かめください。

【次回の招待学年：20歳・小学5年生・小学1年生】

- ◆ 2011年度卒業生(2005年4月2日～2006年4月1日生まれ)
- ◆ 2021年度卒業生(2015年4月2日～2016年4月1日生まれ)
- ◆ 2025年度卒業生(2019年4月2日～2020年4月1日生まれ)



小学3年生以下のお子様につきましては保護者同伴での参加をお願いいたします。

皆様のご参加をお待ちしております！

▲捜真幼稚園ホームページ「卒業生へのお知らせ」をご覧ください。

プログラム表紙デザイン 元捜真幼稚園保育教諭 北村 由美子先生

